

Japan Food Safety Day 2023

性弱説に基づくフードディフェンスの取り組み と食品安全文化

2023年10月19日

マルハニチロ株式会社 品質保証部

中原 千秋



目次

1. マルハニチロ 会社概要
2. アクリフーズ農薬混入事件を受けて
3. 事例紹介
4. 最後に、、、

1. マルハニチロ 会社概要

所在地 : 東京都江東区豊洲

代表者 : 代表取締役社長 池見 賢

連結売上高 : 1兆円(2023年3月末時点)

主な事業内容 : 漁業、養殖、水産物の輸出入・加工・販売、冷凍食品・レトルト食品・缶詰・練り製品・化成品・調味料の製造・加工販売、食肉・飼料原料の輸入、食肉製造・加工・販売



漁業



養殖



水産商事



荷受



畜産商事



海外事業



家庭用冷凍食品



家庭用加工食品



業務用食品



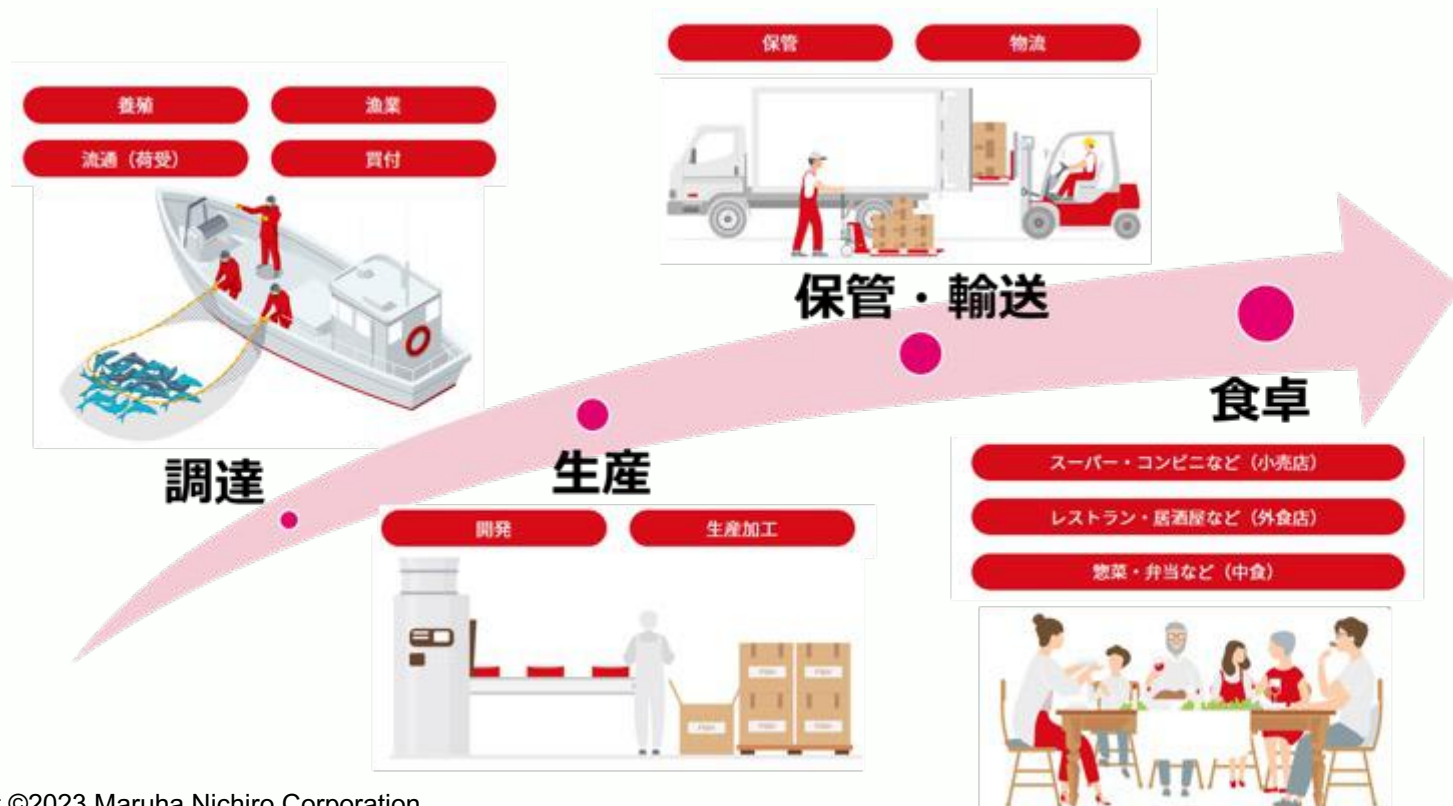
健康食品・化粧品



物流

マルハニチログループについて

水産を強みに、原料調達から製造販売まで一貫したバリューチェーンを構築し、加工食品や畜産、養殖など幅広い事業を展開するグローバル総合食品企業です。



マルハニチログループについて(2)

Over **140** years of history



World's **NO.1** fishery company



1位 冷凍調理 (種類：ラーメン・うどん・そば (スープ付等・具付等))



年間販売金額 (累計)
インター/SR (2008年10月~2017年9月)
SR+ (2017年10月~2022年9月)

DHA(食品用)
生産量国内シェア
約 **50%**
(2023年4月時点/
累計・自社調べ)



153 group companies*

A global network of **70** countries and regions



約 **40** 億円



出典：「食料経済の未来」中経出版刊行
(2023年4月時点/自社調べ)
※5年10.10%

民間企業で初めて
クロマグロの
完全養殖に成功した年
2010年



Maruha Nichiro has been participating
in the Nebuta Festival** for over half a century.

54th occasion



※上記データは2023年4月現在とは一部情報が異なっている場合がございます

マルハニチログループ理念

私たちは誠実を旨とし、本物・安心・健康な『食』の提供を通じて、人々の豊かなくらしとしあわせに貢献します。

アクリフーズ農薬混入事件(2013年12月)



アクリフーズ農薬混入事件 回収結果

【返品数】

お客様から	803,029
流通在庫	5,535,086
計	6,338,115

【お問い合わせ状況】

入電数 1,018,506

(2013年12月30日～2018年10月31日)

自主回収終了まで、約5年を要した。

2. アクリフーズ農薬混入事件を受けて

2014年1月

『アクリフーズ「農薬混入事件に関する第三者検証委員会」』を設置

《提言事項》

- 1 食品企業としてのミッションの再確認と浸透
- 2 組織改革
- 3 品質保証機能の強化
- 4 危機管理への備え
- 5 食品防御
- 6 PBオーナーとの関係づくり

マルハニチロHPより

[csr2014.pdf \(maruha-nichiro.co.jp\)](http://maruha-nichiro.co.jp/csr2014.pdf)



フードセーフティとフードディフェンスの違い

フードセーフティ	フードディフェンス
システム内のエラー	意図的
検査などで対応することが比較的容易	悪意を持って予想外の攻撃を仕掛けてくるため、予測・対応が困難

フードディフェンス
↓
性悪説の考え方

フードディフェンス構築の最初の壁

性善説か性悪説か？



性悪説でよいか？

性悪説をもとに、フードディフェンス（食品防御）対策を推進しようとする、会社と従業員との信頼関係が崩れてしまうのではないか？



マルハニチロのフードディフェンスの考え方

食品への攻撃者	攻撃への動機	計画性	犯行者	危害の程度	犯罪の種類	考え方	対策
部外者	社会の崩壊 (イデオロギー的に 動機付けられる攻 撃)	高い	複数犯	高い	殺人・傷害 (食品テロ)	性悪説	セキュリティレベルの向上 (侵入防止措置)
	会社への恨み 会社に勤める個人に 対する恨み	低い (出来心)	単独犯	低い	偽計業務 妨害		セキュリティレベルの向上 (侵入防止措置)
内部関係者 (従業員、 派遣社員)	会社 (上層部) への 不信・不満	低い (出来心)	単独犯	低い	偽計業務 妨害	性弱説	コミュニケーション 教育・研修 (心) 抑止力の向上



内部関係者に対しては性弱説

性弱説とは？

性善説

人間の本性は基本的に善である。

性悪説

人の性は悪なり、その善なるものは偽なり。

性弱説

人間の本性は基本的に善であるが、外的環境の変化やストレス等で心が弱って出来心で罪を犯す。

性弱説に従うと、、、

= **なによりも大切なものは、**
人と人の輪 =

マルハニチログループ フードディフェンス方針

食品安全文化と密接な関連性

- 1) コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場環境をつくれます。
- 2) お客様に提供する食品の安全を守るため、フードディフェンスに対する意識を高めます。
- 3) 不審者による意図的な食品汚染を防御するための仕組みを整備し、運用します。
- 4) 不審者による意図的な食品汚染を許さない施設の整備に努めます。
- 5) フードディフェンスに関わる活動の継続的改善を推進します。

3. 事例紹介 理念研修



マルハニチログループ理念ブック
※8か国語対応



ポケットブック



理念研修の様子



社長のビデオメッセージ

マルハニチログループ行動指針

わたしたちは、どのような行動を心がけたら良いのでしょうか？

グループ行動指針 チェックリスト

わたしたちが信頼される企業になるために、「グループ行動指針」を決めています。マルハニチログループの一員として、どのような行動を心がけたら良いのかをチェックリストとしてまとめました。できているかどうか、心の中で問いかけてください。



1

安全・品質

わたしは、安全で
おいしいものをお届けします。

- わたしたちがお届けする製品を、あなたの大切な人に食べてもらいたいですか？
- いつもお客様の立場で考えて、行動していますか？



「農薬混入事件を風化させない日 ～安全・安心再確認の日～」

最初の異臭苦情が発生した日 = 11月13日

事件を風化させることなく反省し、消費者の皆様への責任をすべてにおいて優先して果たすという食品企業としての使命に立ち戻るために、毎年、研修や行事を実施



農薬混入事件再現VTRの視聴
※4か国語対応:約22分

「品質管理再確認運動」強化月間

マルハニチログループ全体で品質管理の重要性を認識し、品質事故を発生させない体制を構築する活動を毎年9月に実施

添付様式-A	
品質ヒヤリ・ハット&気付き記入シート(管理・事業・開発・販売・物流部門)	
(記入日) 2021年 9月 日	
(所属) (氏名)	
項目 (○をしてください)	<ul style="list-style-type: none"> 開発フロー 開発期間 原料/包材選定 原料調達 業務遂行手順(ルール) 製品情報管理 お客様からの苦情 関係部署との連携 部署内での連携 取引先対応(監査含む) 物流 その他
内容	<p>※見たこと、聞いたこと、感じたことなどを具体的に[どのような状況の時に、どんな不具合が起こったか(起こりそうか)、どうした方が良いと思うか(改善案)]記載してください</p> <p>.....</p>

日々の業務で気づいた一人ひとりのヒヤリハットの声を吸い上げ、改善に役立てる活動



自社品のアンケートを募集し、品質改善に役立てる活動

各拠点の活動

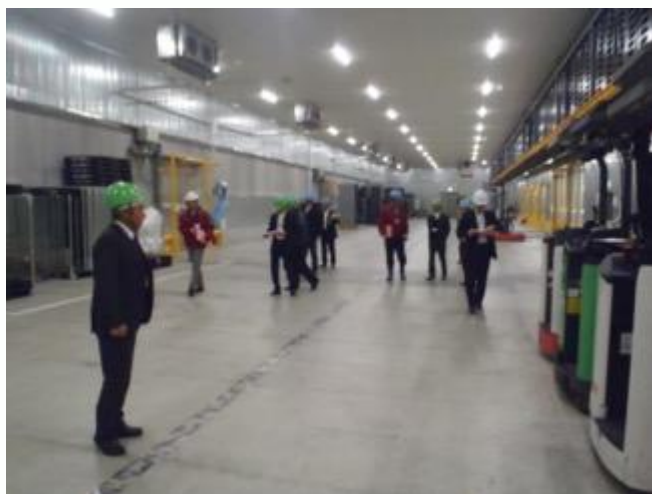
- 職場巡回での声掛け運動
- 1on1ミーティング（個人面談）でのコミュニケーション
- 快適職場調査、エンゲージメントサーベイの展開
- 内部通報制度、意見箱の活用
- レクリエーション活動
- 地域との連携（クリーンアップ活動）



フードディフェンス研修の様子（生産拠点）



フードディフェンス研修の様子（物流拠点）



フードディフェンスミーティング（各拠点）



4. 最後に、、、

- ・農薬混入事件を教訓に、食品企業としてのミッションの再構築、理解の浸透を図ってきた。
- ・フードディフェンスについては、性弱説の考え方に基づいて、意図的な混入をしたいと思わせない良好な職場環境の維持、向上と教育研修の強化を図ってきた。
- ・結果的に、これからの活動は、「食品安全文化の醸成」とリンクすると考えるが、一歩ずつ前進あるのみである。



Thank You